



2025年11月19日

新寝屋川八景巡る散策

Cグループ 案内担当 東川

記録担当 松尾

「寝屋川八景」が昭和61年9月に制定されました。市内に存在する愛すべき地域の有形無形の文化を再発見し、その付加価値を高めて、市民の郷土愛の醸成を図ることを目的として、あらためて「新寝屋川八景」を平成21年1月1日に制定しました。新寝屋川八景は「大阪ミュージアム構想」に登録されています。今回は10コースある中の石宝殿コースと鉢かずき姫コースを散策します。ガイドは市役所文化スポーツ室の職員の人に案内していただきます。

・日時 2025年12月18日(木)

・集合 10時30分 JR寝屋川公園駅改札口

・持ち物 弁当、水筒、雨具、帽子、敷物など。

★当日大阪府の雨予報50%以上の場合は中止、前日にメールで連絡

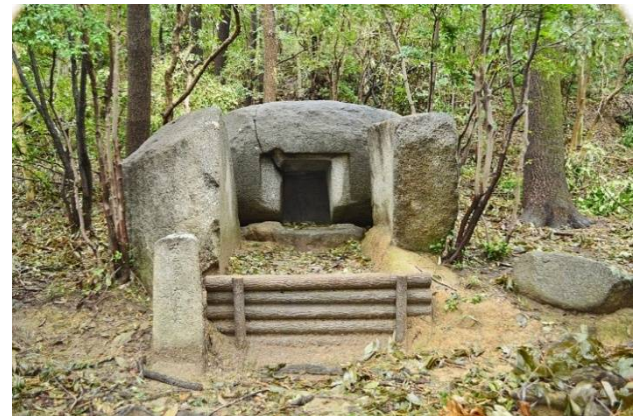
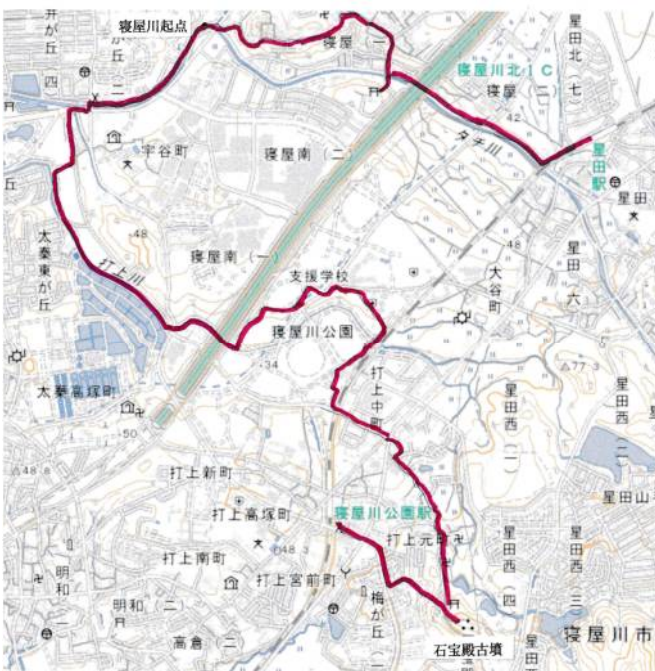
歩行コース(約8km) 石宝殿古墳コース～鉢かずき伝説コース

JR寝屋川公園駅⇒打上公園⇒石宝殿古墳⇒明光寺⇒打上の弘法井戸⇒寝屋古墳⇒寝屋川公園(昼食)

⇒打上川治水緑地⇒寝屋川起点⇒正法寺⇒寝屋のまちなみ⇒寝屋神社⇒JR星田駅 15:00 発快速乗車

散策後忘年会が予定されていますのでJR星田駅 15:00 発に乗車しますのでご協力をお願いします。

歩行ルート図



石宝殿古墳 7世紀中頃に築かれた古墳です。現在は盛土部分がなくなり棺を収める横口式石槨(せっかく)が露出しています。北河内地域では唯一の古墳時代終末期の石槨古墳です。全国に3例しか知られていない珍しい形状の石槨をもつ古墳として、**国指定史跡**となっています。



寝屋川の起点 市の名前となっている寝屋川の起点は、交野市星田から流れるタチ川(傍示川)と市の北東にある香里丘陵から流れる北谷川が合流する寝屋の集落の西側です。ここから香里丘陵と南側の秦・太秦の丘陵の間を流れ、平野に出てからは本市のほぼ中央を南流します。さらに大東市住道で南から流れてきた恩智川と合流し、ここから河内平野中央部を西に流れて大阪城の北側の天満橋付近で大川(旧淀川)に合流します。全長約21kmのうち8kmが市内を流れています。